

TPP(環太平洋パートナーシップ協定)による北海道への影響試算

【北海道農政部】

試算前提

対象品目
米、小麦、てん菜、
でん粉、酪農、
肉用牛、豚
計7品目

対象年度
20年度

試算結果

■影響額合計 ▲ 21,254 億円

うち農業産出額 ▲ 5,563 億円

うち生産条件不利補正
交付金 ▲ 617 億円

うち関連産業 ▲ 5,215 億円

うち地域経済 ▲ 9,859 億円

■雇用 ▲ 173 千人

■農家戸数 ▲ 33 千戸

参考：日豪EPAの影響試算

対象品目
小麦、てん菜、
酪農、肉用牛
計4品目

対象年度
16年度

■影響額合計 ▲ 13,716 億円

うち農業産出額 ▲ 4,456 億円

うち関連産業 ▲ 4,414 億円

うち地域経済 ▲ 4,846 億円

■雇用 ▲ 47 千人

■農家戸数 ▲ 21 千戸

※ 試算は、「日豪FTAによる北海道への影響試算」(平成18年11月)、「国境措置を撤退した場合の国内農業への影響(試算)」(平成19年2月農林水産省)を参考にして積算

北海道農業・農村の多面的機能の評価額

(単位: 億円)

国土保全機能	7,405	洪水防止6,143、土壌浸食防止32、水資源かん養543、大気浄化687
アメニティ機能	4,149	景観保全2,464、保健休養1,044、生態系保全641
教育・文化機能	1,027	自然教育1,017、農業実務研修10
合計評価額	12,581	

資料: 北海道農政部調べ(平成9年度)

(品目別)

対象品目	試算前提
米	外国産は国内米と競合し価格面で優位なことから生産量が9割削減(1割に減少)
小麦	外国産は国内小麦粉と競合し価格面で優位なことから生産が壊滅
てん菜	商品特性上差別化が困難で、外国産は価格面で優位なことから生産が壊滅
でん粉原料用馬鈴しょ	商品特性上差別化が困難で、外国産は価格面で優位なことから生産が壊滅
酪農	飲用等向け以外は、品質面で優位性がないことから生産が大幅減少

TPPによる北海道への影響試算	
■米生産額	▲ 1,130 億円
■作付農家	▲ 15 千戸
■関連産業	▲ 470 億円
■地域経済	▲ 913 億円
■雇用	▲ 22 千人
■小麦生産額	▲ 418 億円
■作付農家	▲ 11 千戸
■関連産業	▲ 219 億円
■地域経済	▲ 558 億円
■雇用	▲ 15 千人
■てん菜生産額	▲ 492 億円
■関連産業	▲ 908 億円
■地域経済	▲ 1,031 億円
■雇用	▲ 19 千人
■でん粉原料用馬鈴しょ生産額	▲ 160 億円
■関連産業	▲ 272 億円
■地域経済	▲ 313 億円
■雇用	▲ 6 千人
■酪農生産額	▲ 2,536 億円
■飼養農家	▲ 6 千戸
■関連産業	▲ 3,302 億円
■地域経済	▲ 6,323 億円
■雇用	▲ 96 千人

対象品目	試算前提
肉用牛	乳用種牛肉は価格差が大きいことから生産が壊滅、和牛等も価格が下落
豚	外国産と競合し価格差が大きいことから生産が壊滅

TPPによる北海道への影響試算	
■肉用牛生産額	▲ 483 億円
■飼養農家	▲ 4 百戸
■関連産業	▲ 21 億円
■地域経済	▲ 445 億円
■雇用	▲ 9 千人
■豚生産額	▲ 344 億円
■飼養農家	▲ 3 百戸
■関連産業	▲ 23 億円
■地域経済	▲ 276 億円
■雇用	▲ 6 千人

合 計	

■影響額合計	▲ 21,254 億円
うち農業産出額	▲ 5,563 億円
うち生産条件不利補正交付金	▲ 617 億円
うち関連産業	▲ 5,215 億円
うち地域経済	▲ 9,859 億円
■雇用	▲ 173 千人
■農家戸数	▲ 33 千戸

注1: TPPの地域経済・雇用への影響は、平成17年産業連関表、平成20年度農業産出額により試算

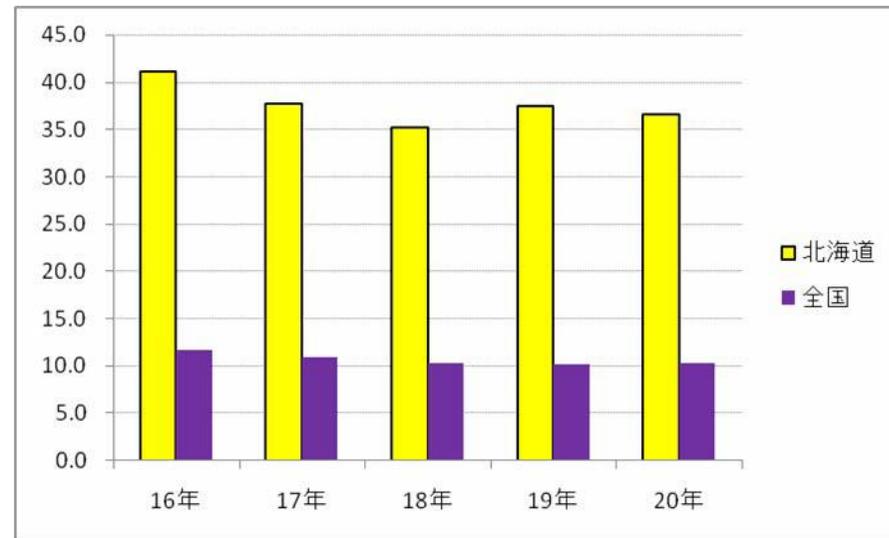
注2: 「日豪FTAによる北海道への影響試算」(平成18年11月)、「国境措置を撤退した場合の国内農業への影響(試算)」(平成19年2月農林水産省)を参考にして積算

資料: 農林水産省「生産農業所得統計」、経済産業省「工業統計調査」、総務省「家計調査」、北海道「道民経済計算年報」

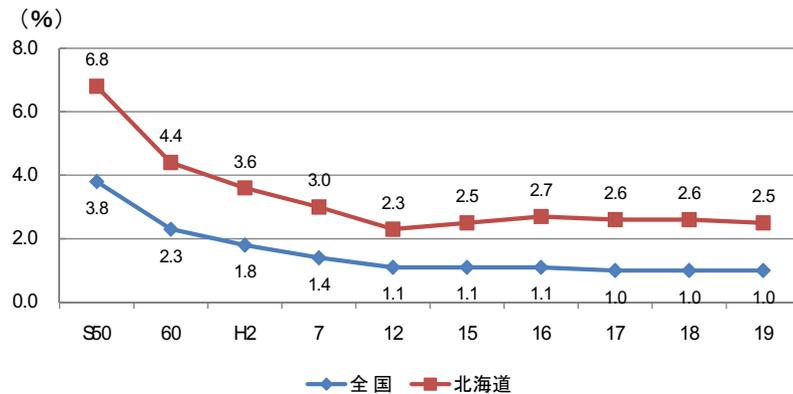
北海道経済の重要な位置を占める農業と関連産業

- 北海道の総生産に占める農業総生産の割合は、2.5%と、国内の割合の1.0%に比べ高い割合
 (※総生産は「出荷ベースの総生産額」から「資材費等の中間投入額」を差し引いた額)
- 北海道の産業別製造品出荷額等の割合は、食品工業は全体の36.6%を占めており、全国の10.4%に比べて非常に高い割合
 (※食品工業は、「食料品製造業」及び「飲料・たばこ・飼料製造業」)
- 振興局別の食品工業の割合は、根室、宗谷、留萌は9割を超えるなど、14振興局のうち9振興局が5割以上を占める

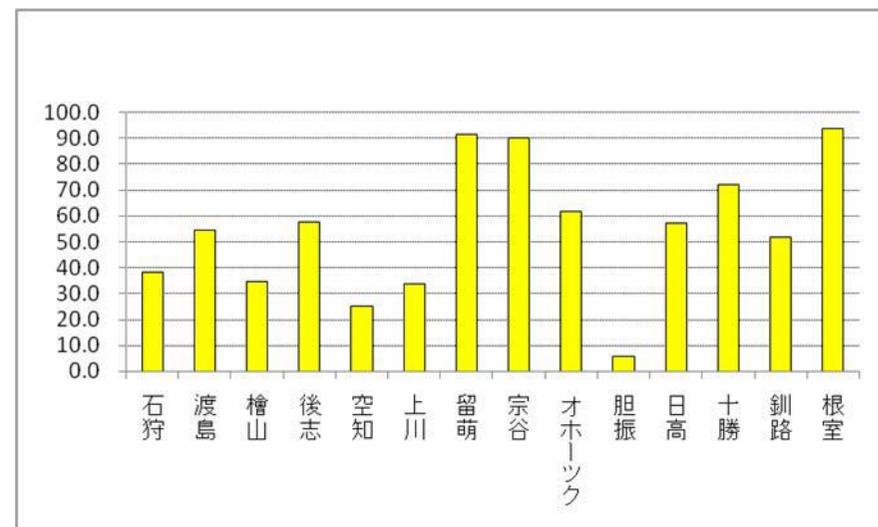
○食品工業の全製造業に占める割合の推移 (%)



国(道)内総生産に占める農業総生産の割合



○道内振興局別食品工業の全製造業に占める割合(平成20年) (%)



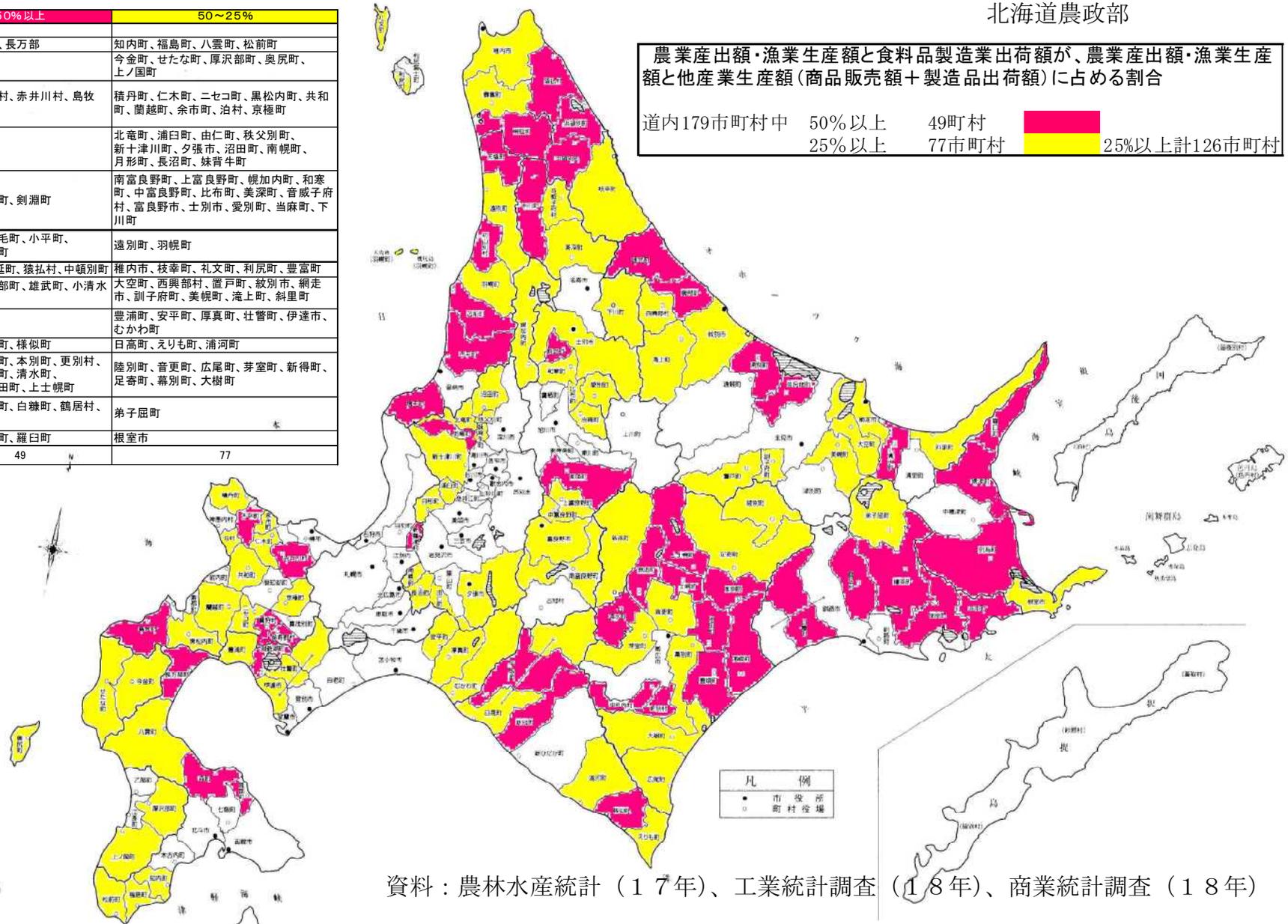
地域経済における農業・水産業のウェイト(市町村別)について

北海道農政部

振興局	市町村数	50%以上	50~25%
石狩	8	新篠津村	
渡島	11	森町、鹿部町、長万部	知内町、福島町、八雲町、松前町
桧山	7		今金町、せたな町、厚沢部町、奥尻町、上ノ国町
後志	20	古平町、真狩村、赤井川村、島牧村、留寿都村	積丹町、仁木町、ニセコ町、黒松内町、共和町、蘭越町、余市町、泊村、京極町
空知	24	雨竜町	北竜町、浦臼町、由仁町、秩父別町、新十津川町、夕張市、沼田町、南幌町、月形町、長沼町、妹背牛町
上川	23	中川町、美瑛町、剣淵町	南富良野町、上富良野町、幌加内町、和寒町、中富良野町、比布町、美深町、音威子府村、富良野市、士別市、愛別町、当麻町、下川町
留萌	8	初山別村、増毛町、小平町、苫前町、天塩町	遠別町、羽幌町
宗谷	10	浜頓別町、幌延町、猿払村、中頓別町	稚内市、枝幸町、礼文町、利尻町、豊富町
オホーツク	18	佐呂間町、興部町、雄武町、小清水町、湧別町	大空町、西興部村、置戸町、紋別市、網走市、訓子府町、美幌町、滝上町、斜里町
胆振	11	洞爺湖町	豊浦町、安平町、厚真町、杜管町、伊達市、むかわ町
日高	7	平取町、新冠町、様似町	日高町、えりも町、浦河町
十勝	19	士幌町、鹿追町、本別町、更別村、豊頃町、浦幌町、清水町、中札内村、池田町、上土幌町	陸別町、音更町、広尾町、芽室町、新得町、足寄町、幕別町、大樹町
釧路	8	標茶町、浜中町、白糠町、鶴居村、厚岸町	弟子屈町
根室	5	別海町、標津町、羅臼町	根室市
計	179	49	77

農業産出額・漁業生産額と食料品製造業出荷額が、農業産出額・漁業生産額と他産業生産額(商品販売額+製造品出荷額)に占める割合

道内179市町村中 50%以上 49町村
25%以上 77市町村 25%以上計126市町村



資料：農林水産統計（17年）、工業統計調査（18年）、商業統計調査（18年）